

小児科

	2018年 足下充足率	2020年シーリング				2021年 シーリング数 (単純計算)	昨年通りの計算をした場合				2021年シーリング (3月27日理事会決定)				2018年		2024年 必要医師数 (勤務時間補正後)	2024年 必要医師数 (勤務時間補正後)	2024年 達成するための年間養成数	過去3年 採用数平均	2020年度 専攻医採用数 (地域枠採用除く)	2019年度 専攻医 採用数	2018年度 専攻医 採用数
		シーリング数	連携プログラム数	連携プログラムのうち 都道府県限定分	連携プログラム数 (通常+連携)		シーリング数	連携プログラム数	連携プログラムのうち 都道府県限定分	連携プログラム数 (通常+連携)	シーリング数	連携プログラム数	連携プログラムのうち 都道府県限定分	連携プログラム数 (通常+連携)	2018年 医師数 (仕事量)	必要医師数 (勤務時間調整後)							
北海道	0.92													616	671	573	10	19	21	17	20		
青森県	0.78													126	161	132	4	5	4	7	4		
岩手県	0.84													136	162	137	4	4	6	4	1		
宮城県	0.85													278	328	285	8	12	11	11	13		
秋田県	1.10				2									121	110	89	-2	3	1	4	5		
山形県	0.91													136	150	128	2	3	3	4	1		
福島県	0.85													211	248	209	5	6	5	5	7		
茨城県	0.71													285	404	346	16	10	9	12	10		
栃木県	0.85													238	282	245	7	9	6	10	11		
群馬県	0.95													265	279	239	3	5	4	6	4		
埼玉県	0.78													774	998	890	37	23	30	21	19		
千葉県	0.77													645	834	738	30	23	18	31	20		
東京都	1.19	106	17	4	123	98	98	16	8	114	98	19	11	117	2,354	1,972	1,839	-27	129	123	123	141	
神奈川県	0.84													1,078	1,287	1,148	37	29	36	26	24		
新潟県	0.89													270	305	263	6	5	5	6	4		
富山県	0.98													137	141	120	1	3	3	5	1		
石川県	1.00													176	177	155	1	3	2	3	4		
福井県	1.05				2									118	112	98	0	3	2	3	3		
山梨県	1.16				1									125	108	91	-2	2	2	3	1		
長野県	0.94													277	293	250	3	7	8	9	5		
岐阜県	0.86													252	293	252	6	7	4	6	12		
静岡県	0.76													413	541	469	19	13	16	14	8		
愛知県	0.80													909	1,137	1,022	38	27	29	23	30		
三重県	0.82													208	255	221	8	6	9	5	5		
滋賀県	1.02	7	0	0	7	6	7	0	0	7	7	0	0	7	235	231	208	1	7	6	7	7	
京都府	1.21	9	0	0	9	6	9	0	0	9	9	0	0	9	429	354	309	-8	9	9	9	8	
大阪府	0.91													1,224	1,342	1,172	21	48	56	42	46		
兵庫県	0.94													742	787	682	10	29	35	20	32		
奈良県	0.94													171	182	155	2	7	9	5	6		
和歌山県	1.01				2									131	129	111	0	3	1	5	4		
鳥取県	1.53	7	0	0	7	2	7	0	0	7	7	0	0	7	128	83	74	-5	4	3	2	7	
島根県	0.97													94	97	85	1	2	2	3	2		
岡山県	1.01	14	0	0	14	8	14	0	0	14	14	0	0	14	291	288	257	2	9	5	14	7	
広島県	0.82													357	435	389	14	6	5	6	6		
山口県	0.92													174	189	163	3	3	3	2	4		
徳島県	1.03				1									99	96	82	0	1	2	2	0		
香川県	1.07	7	0	0	7	3	7	0	0	7	7	0	0	7	146	137	119	0	4	1	7	3	
愛媛県	0.95													177	186	159	2	4	3	3	5		
高知県	1.09				1									102	93	78	-1	1	2	0	2		
福岡県	0.92	25	3	1	28									839	915	830	18	27	25	28	29		
佐賀県	0.87													116	134	119	3	2	4	3	0		
長崎県	1.01				5	9	0	0	9	9	0	0	9	198	197	169	1	6	3	7	9		
熊本県	0.92													253	276	248	6	8	7	8	9		
大分県	1.04				3	7	0	0	7	7	0	0	7	173	166	145	0	4	2	4	7		
宮崎県	0.71													123	172	150	7	5	7	4	3		
鹿児島県	0.75													190	252	220	10	4	1	4	8		
沖縄県	0.82	16	0	0	16									245	299	277	11	8	4	5	16		

2021年小児科シーリング対象となった要因

- (1)小児科医の増加
 - (2)小児科の推計患者数の減少
 - (3)2018年の採用数が突発的に多い

(1)現医師数の基礎データの変更

【変更前】

2016年医師・歯科医師・薬剤師調査

【変更後】

2018年医師・歯科医師・薬剤師調査



小児科医の増加がみられた 167人→178人 (+11人)

(2)診療科ごとの必要医師数を計算するために必要となる「推計患者数」の算出方法の変更

【変更前】

全国の各診療科(小児科)の推計患者数を、
各県の人口にて按分(年齢構成の差は未調整)

【変更後】

全国の15歳未満人口の推計患者数を、
各県の15歳未満人口の割合にて按分
(※小児科以外についても性年齢階級別人口にて按分)



相対的に年少人口割合の少ない都道府県は推計患者数が減る＝必要医師数の減少

※沖縄は2020年はシーリングがかかっていたが、年少人口割合が全国一高いため、今回の計算方法の見直しにより急激に必要な医師数が増えたという現象が起きている。

(3)2018年の採用数が突発的に多い

・採用少数県については過去3年の採用数の最も大きい数がシーリングとなるが、その数値が「5」以下であればシーリング対象外となる。



本県の採用数は2018年「7」、2019年「4」、2020年「2」であり、単年度のみ突発的に採用数が増加しているため、この計算方法が見直されない限り、今後もシーリングがかかりやすい状況となっている

※鳥取県、香川県が本県と同じような状況

※足下充足率は本県より高いが、当ルールによりシーリングを免れている県(秋田、福井、山梨、高知)

小児科

	2020年シーリング計算の基礎データ				2021年シーリング計算の基礎データ			
	2016				2018			
	医師数	必要医師数	足下充足率 (医師数/必要医師数)	2024 必要医師数	医師数	必要医師数	足下充足率 (医師数/必要医師数)	2024 必要医師数
北海道	630	742	0.85	719	616	671	0.92	573
青森	129	177	0.73	165	126	161	0.78	132
岩手	132	171	0.77	161	136	162	0.84	137
宮城	279	317	0.88	313	278	328	0.85	285
秋田	120	138	0.87	126	121	110	1.10	89
山形	137	160	0.86	151	136	150	0.91	128
福島	206	269	0.77	255	211	248	0.85	209
茨城	279	395	0.71	384	285	404	0.71	346
栃木	227	284	0.80	278	238	282	0.85	245
群馬	275	292	0.94	285	265	279	0.95	239
埼玉	714	964	0.74	978	774	998	0.78	890
千葉	630	833	0.76	839	645	834	0.77	738
東京	2,284	1,869	1.22	1,929	2,354	1,972	1.19	1,839
神奈川	1,078	1,173	0.92	1,189	1,078	1,287	0.84	1,148
新潟	267	325	0.82	311	270	305	0.89	263
富山	155	148	1.05	142	137	141	0.98	120
石川	169	160	1.06	156	176	177	1.00	155
福井	122	109	1.12	105	118	112	1.05	98
山梨	124	117	1.05	112	125	108	1.16	91
長野	288	300	0.96	288	277	293	0.94	250
岐阜	243	285	0.85	275	252	293	0.86	252
静岡	396	563	0.70	551	413	541	0.76	469
愛知	899	1,138	0.79	1,154	909	1,137	0.80	1,022
三重	201	257	0.78	250	208	255	0.82	221
滋賀	222	200	1.11	201	235	231	1.02	208
京都	434	373	1.16	370	429	354	1.21	309
大阪	1,192	1,259	0.95	1,245	1,224	1,342	0.91	1,172
兵庫	716	809	0.89	798	742	787	0.94	682
奈良	156	185	0.84	179	171	182	0.94	155
和歌山	132	161	0.82	152	131	129	1.01	111
鳥取	124	94	1.32	91	128	83	1.53	74
島根	97	97	1.00	93	94	97	0.97	85
岡山	296	270	1.10	265	291	288	1.01	257
広島	347	398	0.87	394	357	435	0.82	389
山口	171	195	0.88	185	174	189	0.92	163
徳島	106	117	0.91	111	99	96	1.03	82
香川	149	145	1.03	141	146	137	1.07	119
愛媛	182	195	0.94	185	177	186	0.95	159
高知	102	113	0.90	106	102	93	1.09	78
福岡	803	756	1.06	764	839	915	0.92	830
佐賀	122	130	0.94	126	116	134	0.87	119
長崎	200	208	0.96	198	198	197	1.01	169
熊本	251	294	0.86	288	253	276	0.92	248
大分	165	184	0.89	179	173	166	1.04	145
宮崎	126	188	0.67	182	123	172	0.71	150
鹿児島	184	247	0.74	236	190	252	0.75	220
沖縄	235	201	1.17	207	245	299	0.82	277
合計	16,496	18,005	0.92	17,812	16,785	18,288	0.92	16,140

…シーリングがかかっている都道府県

シーリングの対象の考え方

シーリングの対象とする都道府県別診療科は、2016年医師数(仕事量)が、必要医師数(勤務時間調整後)および2024年の必要医師数(勤務時間補正後)と同数あるいは上回る診療科とする。

シーリング数の考え方

シーリング数は、「2018年と2019年の平均採用数」(E)から、「2024年の必要医師数を達成するための年間養成数」と「平均採用数」の差分(E-D)の一定割合(例えば20%)を引いた数(E-(E-D)×20%)とする。

※昨年度の考え方のため、今年は2020年採用数がプラスされる。

$$\boxed{\begin{array}{c} 18年度・19年度 \\ 専攻医採用数 \\ 平均(E) \end{array}} - \left[\boxed{\begin{array}{c} 18年度・19年度 \\ 専攻医採用数 \\ 平均(E) \end{array}} - \boxed{\begin{array}{c} 24年の必要医師 \\ 数を達成するた \\ めの年間養成数 \\ (D) \end{array}} \right] \times 0.2 = \boxed{\text{シーリング数}}$$

(例) A県のB診療科の平均採用数が100人であるが、24年の必要養成数が50人の場合

$$100人 - (100人 - 50人) \times 0.2 = 90人$$

シーリング数の上限と下限

1 シーリング数の上限

- ・シーリング数 > 20の場合 ⇒ 2019年の専攻医採用数
- ・シーリング数 ≤ 20の場合 ⇒ 過去2年の平均採用数と2019年の採用数のいずれか大きい方

2 シーリング数の下限

- ・シーリング数が5を下回る場合、5とする。

(令和2年度第1回医道審議会医師分科会 医師専門研修部会資料より)